第 11 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和6年 9 月 27 日

定 例 会

令和6年第11回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和6年9月27日
 招集の場所 越谷市役所第二庁舎3階 教育委員会室
 開閉会日時 開会9月27日 午前10時00分
 閉会9月27日 午前11時13分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平

欠席委員

委 員	東 宏 行	委 員	足 立 夢 実
-----	-------	-----	---------

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	小 泉 隆 行	学校教育部長	青 木 元 秀
教育総務部 副参事兼 教育総務課長	會 田 修	学校教育部 副部長兼 学校管理課長	五十嵐 治
教育総務部 副参事兼 生涯学習課長	川 澄 大 治	学校教育部 副参事兼 学務課長兼 小中一貫校 整備室長	磯 山 貴 則
スポーツ振興 課 長	坂 卷 孝 二	指 導 課 長	千 嶋 淳 一
図 書 館 長	茂 木 実	給 食 課 長	平 野 浩 孝
生涯学習課 調 整 幹 兼 科学技術体験 センター所長	小 抜 麻 衣 子	教育センター 所 長	菊 池 邦 隆
大 相 模 公 民 館 長	飯 田 文 洋	学校管理課 調 整 幹	杉 田 直 也
		指 導 課 調 整 幹	二 瓶 剛
		給 食 課 調 整 幹 兼 第一学校給食 センター所長	益 本 雅 行
		教育センター 調 整 幹	浜 崎 重 靖

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 調 整 幹	鈴 木 理 香
----------------	---------

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより9月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本日の会議にあたりまして、越谷市教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、東委員及び足立委員より欠席届が提出されておりますので、ご報告いたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、越谷市教育委員会傍聴人規則第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

はじめに、教育長専決第27号、第41号議案については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前10時00分)

◎第40号議案 「令和7年度当初越谷市立小・中学校教職員人事異動の方針について」

吉田教育長 それでは、第40号議案「令和7年度当初越谷市立小・中学校教職員人事異動の方針について」、学務課長から説明いたします。

学務課長。

磯山学務課長 それでは、第40号議案 令和7年度当初越谷市立小・中学校教職員人事異動の方針について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の7ページをご覧ください。

第40号議案 令和7年度当初越谷市立小・中学校教職員人事異動の方針について。

令和7年度当初越谷市立小・中学校教職員人事異動の方針について、別紙のとおり決定する。

令和6年9月27日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、令和7年度当初人事異動を行うにあたり、越谷市立小・中学校教職員人事異動の方針を決定する必要があるため、提案するものでございます。

恐れ入りますが、会議要項の9ページをご覧ください。

人事異動の方針は、毎年、埼玉県教育委員会が定めた人事異動の方針を踏まえ、決定しているものでございます。この人事異動の方針に基づきまして、市町村教育委員会と県教育委員会が連携、協力しながら、人事異動の事務手続を進めております。

「1基本方針」ですが、以下の方針を示しております。

(1) 適材を適時に適所に配置すること。

(2) 人材育成を期すること。異動は最大の研修であるとも言われております。

(3) 地域差・学校差を是正すること。

(4) 全市的・長期的展望に立って、計画的に選考、異動を実施し、本県・本市教育水準の向上を図ること。

(5) 新規採用教職員は、人材育成や学校間の教職員組織の均衡を勘案して適切な配置に努めること。

(6) 役職定年後の教職員及び再任用職員は、全市的視野から適切な配置に努めること。

(7) 女性教職員の積極的な登用に努めること。

(8) 障がいのある教職員の異動については、個々の障がいの状況、能力、適性等を考慮し、適切な配置に努めること、を掲げております。

「2 転任・転補」ですが、「1 基本方針」を受けて、魅力ある学校づくりを目指し、適材を適時に適所に配置すること、教職員組織の充実を図ること、新規採用後早期に複数校を経験するよう積極的に異動を行うこと、同一校勤続年数が長い者については、積極的に異動を行うこと等、5項目が掲げられております。

続きまして、会議要項10ページをご覧ください。その他、「3 登用」、「4 人事交流」を示しております。来年度に向けまして、これらの基本方針に基づき、適正な人事事務を進めてまいりたいと存じます。また、この基本方針のほか、各校長の学校経営方針も踏まえ、魅力ある学校づくりにつながる人事異動、教職員を生かし育てるための人事異動にしていきたいと考えております。

第40号議案についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 例えば、1 (4)「全市的視野」は、越谷市全体ということでしょうか。

2 (5)「広域的な異動」は、埼玉県全体ということでしょうか、教えてください。

2 (4)「職場経験を豊かにするため、同一校勤続年数の長い者」は、大体どのくらいの人を指すのでしょうか。

10ページの「4 人事交流」で、「人事交流を積極的に行う」は、例えば、現在は具体的にどのようなことが行われているのでしょうか、教えてください。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 まず、全市的というのは、おっしゃるとおり越谷市ということになります。全県的というのは、人事異動については市をまたいでの人事等もございますので、埼玉県内ということになります。

(5)「広域的な異動を行う」というところですが、これも市をまたいでの人事等の考え方ということになります。

「4人事交流」につきましては、異校種間の交流、小学校から中学校へ、中学校から小学校へというもの、あるいは特別支援学校との交流というものがございます。現在、越谷市内で異校種、小学校から中学校へ行く「ジョイントプラン」という施策で、小学校教員が中学校へ異動して自分たちの小学校にいた子どもたちを中学校で受け入れる、そこで子どもたちを実際に育てた後、また小学校に異動して戻る、という教員が1名おります。

同一校勤続年数につきましては、3年以上7年目の教員については異動対象となり、7年以上を積極的に異動させる、最終的には10年以上は基本的に異動する、同一校に在籍することができない、となっております。

吉田教育長 これは県の方針ですけれども、越谷市も県の方針を受けてこのように進めていきたいということになりますか。

磯山学務課長 はい、おっしゃるとおりです。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

さいたま市の場合はどういう扱いになっているのか、補足できますか。

学務課長。

磯山学務課長 さいたま市については、かつて埼玉県内の市町村であったというところから、教員採用試験が平成16年度以前のもので採用された者については、人事異動、交流ができることになっていますが、現在は採用が県と別になっているので、基本的に県との人事交流は行っていない状況になっています。

吉田教育長 他にございますか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより第40号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎その他 「令和6年9月定例市議会について」

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「令和6年9月定例市議会について」、教育総務部長から説明いたします。

教育総務部長。

小泉教育総務部長 それでは、令和6年9月定例市議会の概要につきましてご報告させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の15ページ及び16ページをご覧ください。まず、会期日程でございますが、9月2日から9月26日までの25日間にわたりまして、9月定例市議会が開催されました。

続きまして、17ページ上段をご覧ください。教育委員会に関する議案につきましては、財産の取得について（小学校教師用指導書・小学校教師用教科書）ほか3件が上程され、全て原案のとおり可決されたところでございます。

次に、教育委員会関係の一般質問でございますが、会期日程にありますように、9月6日及び9日から11日までの計4日間にわたりまして、市政に対する一般質問がありました。教育委員会関連の質問につきましては、会議要項の17ページ中段から18ページのとおり、10人の議員からそれぞれの立場でご質問がございました。

また、9月13日に開かれました子ども・教育常任委員会における質問事項等は、会議要項の19ページのとおりでございます。質問内容等の詳細につきましては、大変恐縮でございますが、会議要項をご参照いただき、ご了承を賜りたいと存じます。

令和6年9月定例市議会についてのご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 19ページ、子ども・教育常任委員会で、教科書指導書の財産取得についての質疑あるいは答弁があったということですが、どんな質問があつて、どのようなご答弁をされたかという概略を教えてください。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 質問といたしましては、契約の流れはどのようになっているのか、再発防止に向けて、どのようなことを対策として取る予定か、といったご質問がございました。

契約の流れに関しましては、教科書指導書は取次書店が決まっているため1者だけと契約をするということで、担当課が契約をする、つまり財政課であつたり契約課であつたり、他課を通さず契約ができるといったもので、そのような流れで契約しましたと答えました。

再発防止に関しましては、契約課長が出席しておりましたので、契約課から答えました。契約課でチェック機能、多くの目で見ると、そういった体制を取り、担当課1課で対応しないように対応していきたい、再発防止に努めるとの答えがございました。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 特にその後の質問はなかったわけですね。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 答えのとおり、よろしく申し上げますということでございました。

吉田教育長 補足がありますか。

学校教育部長。

青木学校教育部長 契約の流れにつきましては、先ほど指導課長が話したとおりです。人的に契約課等が関与していくというのは当然なのですけれども、人的でない部分のシステム、例えば契約

システムで2,000万円を超えた場合にはアラートが出るような改修にも取り組んでいくということとでございました。

吉田教育長 このことは新聞記事に載っていました。幾つかの県でも、市町村で同様に追認として上程されたものがあるということですのでけれども、よろしいですか。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎その他 「越谷市二十歳のつどいにおける市長の代理者について」

吉田教育長 続きまして、「越谷市二十歳のつどいにおける市長の代理者について」、生涯学習課長から説明いたします。

川澄生涯学習課長 それでは、越谷市二十歳のつどいにおける市長の代理者について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の20ページをお開きください。今年度の越谷市二十歳のつどいにつきましては、二十歳に達した青年の門出をお祝いするものとして、令和7年1月12日（日曜日）に市内11会場で開催を予定しております。おおむね昨年度と同様の内容で実施を予定しておりますが、改めて市長の代理者について整理をいたしましたので、ご説明させていただきます。

越谷市では、地区ごとに二十歳のつどいを開催していることから、市長が出席できない会場については代理者にご出席いただいております。昨年度は副市長及び教育長は午前1会場、午後1会場の2会場、教育委員の皆様にはそれぞれ1会場にご出席いただきました。代理者の役割といたしましては、式辞の読み上げ、記念品の贈呈、誓いの言葉の受領の3点でございましたが、式辞の読み上げにつきましては、昨年度から市長が出席できない会場においては、ビデオメッセージを流すことといたしましたので、式辞の読み上げの役割はなくなり、記念品の贈呈及び誓いの言葉の受領の2点のみとなっております。

代理者としての役割の変更に伴い、改めて代理者として式典に出席すべき者の考え方についても整理したところ、例年教育委員の皆様には、市長の代理者として二十歳のつどいにご出席いただいておりますが、市の代表である市長の代理者として、市とは独立した行政委員会である教育委員会の委員の皆様にご出席いただくのではなく、市職員が代理者として出席することが適切ではないかと考え、今年度以降の二十歳のつどいにつきましては、市長の代理者として副市長、教育長及び市職員で対応させていただきたいと考えておりますので、ご理解賜りたく存じます。

なお、二十歳のつどいを生涯学習課が所管していることから、代理者として出席する市職員については、教育委員会事務局の管理職から選出することといたします。教育委員の皆様には、市長の代理者として二十歳のつどいへのご出席をお願いすることはいたしません。今後につま

しても、実施に当たってご助言等いただければと存じますので、よろしく願いいたします。

越谷市二十歳のつどいにおける市長の代理者についてのご説明は、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 大変納得できる内容かと思いました。

吉田教育長 他に、よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、この件については以上のとおりとします。

◎その他 「「県民の日」を学校閉庁日に設定することについて」

吉田教育長 続きまして、「「県民の日」を学校閉庁日に設定することについて」、学務課長から説明いたします。

学務課長。

磯山学務課長 それでは、「県民の日」を学校閉庁日に設定することについて、ご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の22ページをお開きいただきたいと存じます。教育委員会事務局が主体となり、校長会との協議を重ね、今年度から11月14日の「県民の日」を学校閉庁日に設定することといたしました。今回の設定の経緯につきまして、本市におきましては、越谷市立小中学校管理規則第3条第3号において、「県民の日」を休業日と規定しており、現状、学校において日直を除いた多くの教職員が休暇を取得しております。

学校閉庁日の設定につきましては、「越谷市学校における働き方改革基本方針」において学校閉庁日の設定の推進を定めており、学校閉庁日の設定の意義は、教職員の休暇取得の促進、児童生徒の心身のリフレッシュや地域活動への参加の促進であり、学校閉庁日は勤務が割り振られている日として扱い、日直を置かないこととしております。また、学校閉庁日においては、学校は終日留守番電話設定とし、平日の8時30分から17時15分までは、教育センターで電話受信対応を行っております。さらに、学校閉庁日は、学校として対外的な業務を行わない日であり、部活動も原則行いません。このような現状等を鑑み、本市におきましては、8月10日から8月16日の平日に加え、11月14日の「県民の日」を学校閉庁日に設定いたしました。これにより、本市の教職員のさらなる休暇取得の促進をしております。

また、会議要項23ページになりますが、本定例教育委員会会議後に市内各小中学校長へ今回の学校閉庁日に関する通知を行うとともに、関係各所にも周知してまいります。なお、児童生徒の保護者に対しては、各学校から周知する予定です。

「県民の日」を学校閉庁日に設定することについてのご報告は以上でございます。

吉田教育長 近隣の状況は分かりますか。

磯山学務課長 近隣市町については、八潮市を除いた三郷市、吉川市、松伏町等につきましては、既に「県民の日」を学校閉庁日に設定しています。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 言葉の問題なのですけれども、勤務が割り振られている日を閉庁日とするのは、もう少しみ砕いた言い方で教えていただきたい。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 越谷市立小中学校管理規則において、教職員が働く日というのは校長が定めることになっています。勤務を要しない日というのは、週休日、つまり土曜日、日曜日のことを言い、働かなければいけない日は勤務を要する日と言っております。いわゆる月曜日から金曜日のこととお考えいただければと思います。

この勤務を要する日に該当しているということは、勤務しなければならない日ではあるのだけれども、「県民の日」は多くの職員が休暇を取得しています。学校においては管理上、日直を置かなければいけないという規則はないのですけれども、施設設備を運営管理し、整備保全に努めなければならないと定められており、毎日日直を置いています。子どもが来る来ないにかかわらず、勤務を要する日については必ず日直を置いている状況にあります。つまり、全員が休んでいる中、必ず日直は出勤をしなければいけないという状況にあるという中で、「県民の日」はほとんどの職員が今お休みをしているという状況であるならば、近隣市町の状況を考えても、これは学校閉庁日とすべきではないかということで、校長会から要望をいただいたということでございます。

吉田教育長 長期休業日の夏休みはいわゆる課業日、勤務を要する日ということになっています。

山口委員。

山口委員 勤務が割り振られている日としたほうが、日直を置かなくてよくなると考えてもよろしいのですか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 割り振ると言い方については、勤務時間の割り振り、つまりどの日を勤務するか勤務しないかということについてを、割り振ると言い方をします。割り振りについては権限が校長にあり、割り振り変更と学校では使います。言葉の使い方としては、勤務を要する日、要しない日となります。割り振りというのは、校長先生がいつ働くか、例えば土曜日に運動会があるから来週月曜日については振替休日ということについては、割り振り変更していくという言葉の使い方になります。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 恐らく文言の問題だと思うのですけれども、少し分かりにくいのは、学校

閉庁日は勤務が割り振られている日として扱うが、日直は置きませんという意味なのですね。扱うのだけれども、日直は置きませんという、その意味を伝えたいのですけれども、ということかと思ったのです。私は、基本的に賛成なのです、いいことだなと思います。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 通常の勤務日であれば、必ず日直は置いている、つまり学校は開いている状態ではあるのですけれども、学校閉庁日というのは、勤務はしなければならない日ではあるのだけれども、学校に職員を置かない、日直を置かないことによって、学校を閉じてしまいます。このことによって、いわゆる働き方改革を推進する、そういう意味合いになります。対外的な電話であったり、連絡事項、部活動であったり、そういうことは全てやらないという意味で捉えられるよう、各学校にはメール等も通じて、分かりやすくそれぞれの保護者へお出しするよう通知してまいりたいと思います。

吉田教育長 併せて、夏休みに閉庁日を設けているけれども、その説明もそのような文章になっていますか。

学務課長。

磯山学務課長 はい、おっしゃるとおりでございます。学校閉庁日について、夏休みの状況は十分保護者に理解を得られている状況でございます。混乱は生じないと捉えています。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 私も内容は賛成なのですが、「県民の日」を休業日としているという、この休業日というのはどういうことなのですか。これは現況では教職員は休暇を取っているというところは、少し説明していただきたいのですが。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 分かりやすく言うと、休業日というのは子どもが来ない、いわゆる夏季休業日、冬季休業日という授業をやらない日を休業日と捉えていただくと分かりやすいのかと思います。つまり「県民の日」も休業日としているということは、子どもたちにとってはお休みの日で、職員にとっては勤務をしなければならない日であるということです。

渡辺委員 割り振られている日なので、今は休暇届を出しているということですね。

磯山学務課長 職員には休暇促進ということで、全ての職員がおしなべて休暇を取れるように、お盆の時期に学校閉庁日を設定しています。それまでは学校閉庁日が設定されるのは、必ず日直はいなければならなかったもので、その学校によって順番があったりだとか、何かしらの方法でそこに人を割り振っていたという状況でした。つまりお盆の間休んでいる間も、必ず誰かが学校にいないければならなかったという状況がございましたので、世間一般がお休みを取っている日に、教職員も全てお休みが取れるように、ただし、それは学校自体がいわゆる勤務を要しないのではなくて、勤務を要するのだけれども、日直を置かないことにしてみんなでお休みを取りましょうと、

そういう意図を持って進めているというところでございます。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 お盆の時期は閉庁日になっているということですが、年末年始はどういう扱いをしているのですか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 年末年始につきましては、学校職員の休日という形です。学校そのものが12月29日から1月3日までは休みになっており、日直も置きません。

山口委員 制度上、お盆とお正月とで扱い違って見えるのは、分からないところですね。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 年末年始、12月29日から1月3日までを学校閉庁日としない理由は何ですか。

吉田教育長 学務課長。

磯山学務課長 勤務を要しない日に当たっているので、閉庁にする必要はないということなのです。勤務は要しない日に割り振られていますので、日直も学校では置く必要がないのです。

吉田教育長 今のご質問とは少し違いますけれども、子どもは来ないけれども授業日になっている日については、全部閉庁日に扱うこともできなくはありません。ただし、いろいろな問合せがあったときにどうするか、あるいは不審火が起きたらどうするか、ということがあり、全てを閉庁日とはしていないということが一つあります。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎その他 「令和6年度第1回越谷市いじめ問題対策連絡協議会について」

「令和6年度第1回越谷市いじめ防止対策委員会について」

吉田教育長 続きまして、「令和6年度第1回越谷市いじめ問題対策連絡協議会について」及び「令和6年度第1回越谷市いじめ防止対策委員会について」は関連があるため、一括して指導課長から説明いたします。

指導課長。

千嶋指導課長 それでは、令和6年度第1回越谷市いじめ問題対策連絡協議会及び令和6年度第1回越谷市いじめ防止対策委員会についてご報告いたします。

なお、2つの会議は相互に関連しておりますので、一括してご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の24ページをご覧ください。はじめに、越谷市いじめ問題対策連絡協議会についてですが、本連絡協議会は、児童生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、いじめの防止、早期発見及び対処に関係する機関及び団体の連携を図るために設

置されたものです。

第1回の本連絡協議会は、令和6年7月8日月曜日、9時30分から、越谷市役所第二庁舎5階会議室にて、委員10名の出席をもって開催いたしました。会議は一部非公開により開催し、傍聴者はありませんでした。

本会議は、中段に掲載しております次第に沿って進行いたしました。議事等の審議状況ですが、はじめに事務局から報告事項として、昨年度におけるいじめ防止等に係る対策の実績について説明を行いました。次に、協議事項として、関係行政機関の取組として、今年度はさいたま地方法務局越谷支局と越谷人権擁護委員協議会の取組について発表していただき、それぞれ協議を行っていただきました。その後、今年度におけるいじめ防止等に係る教育委員会・学校の取組について説明を行いました。それぞれ説明を行う中で、いじめ等の防止についての協議及び各委員の所属する機関や団体のいじめ防止を中心とした取組についての情報共有が行われました。

詳細については、恐れ入りますが、ページ下段の「議事等の概要」以降をご参照いただきたいと思います。

続きまして、会議要項の30ページをご覧ください。いじめ防止対策委員会についてですが、本委員会は、児童生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、いじめの防止、早期発見及び対処のための対策を実効的に行うために設置されたものです。

なお、本委員会は、「いじめによる心身への重大な被害など、重大事態が発生し、教育委員会が当該事案に係る調査を行う場合においては、いじめ防止対策委員会が調査を担うこと」、「いじめ問題対策連絡協議会の開催後に委員会を開催し、連絡協議会における協議内容等を踏まえたいじめ防止等の実効的な対策について、具体的に協議できるよう配慮するものであること」という役割や特徴があることを補足いたします。

第1回の本委員会は、令和6年7月31日水曜日、13時30分から、越谷市役所第二庁舎3階教育委員会室にて、委員5名の出席をもって開催いたしました。会議は一部非公開により開催し、傍聴者はありませんでした。

会議は、中段に掲載しております次第に沿って進行いたしました。議事等の審議状況ですが、はじめに事務局から、昨年度におけるいじめ防止等に係る取組と、市のいじめ等の状況について説明を行いました。また、今年度のいじめ防止等に係る取組と越谷市「いきいきアンケート」等の結果及び今後の取組について説明を行い、それらを踏まえたいじめ防止等の実効的な対策について協議が行われました。

詳細については、恐れ入りますが、ページ中段の「議事等の概要」以降をご参照いただきたいと思います。

令和6年度第1回越谷市いじめ問題対策連絡協議会及び令和6年度第1回越谷市いじめ防止対策委員会についてのご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 26ページ、(2)協議事項 ①関係行政機関の取組について、さいたま地方法務局越谷支局と越谷人権擁護委員協議会よりということで、項目だけは記載していただいているのですが、具体的にどのような取組について発表があったか、話せる範囲で教えていただけたらと思います。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 発表していただいております取組といたしましては、具体的には、学校からの質問を受けての発言も含め、28ページの黒丸で書かれている部分でございます。法務局からは、取組の内容として「子供人権110番」、「子供の人権SOSミニレター」の紹介がありました。最初の黒丸で、中学校の代表校長先生から、法務局などでいろいろないじめの訴えがあるのが分かりますが、最近では学校を経ずに、弁護士や警察署の機関などに、いじめの相談に行くケースが多く、学校としてどのように保護者へアプローチをしていっていいのかと法務局の方に質問しております。2つ目の黒丸で、法務局の方が、学校の見守り体制づくりをしていただくのが一番、と発言されておりました。

また、小学校の校長先生から、人権に関するミニレターがあった事案の報告等もございました。

吉田教育長 具体的な「子供の人権SOSミニレター」事業は、学校も理解しているのですが、会議を通して、学校だけが情報発信するのではなく、いろいろなところでやっている取組について情報交換をしている、とお考えいただくといいのかと思います。

学校教育部長。

青木学校教育部長 例えば取組の一例を申し上げますと、「子供の人権SOSミニレター」は、子どもたちに最初に配るのは学校からになりますけれども、悩みがあって友達、先生、親にも言えないけれども、誰かに相談をしたいというときに、ミニレターに書いて学校ではなくて法務局に送ると、法務局で相談にのる方が、直接その子にアドバイスなどをします。それは、保護者、先生にも内緒という、いわゆるセーフティーネットとして、子どもたちが誰にも相談できない状況をつくらないための取組と考えております。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 越谷市人権擁護委員協議会からは、どのような話があったのか、教えていただければと思います。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 「小学校への人権教室」や、2か所の幼稚園で、子どもたちや保護者へ人権ビデオ「ねずみくんのきもち」を使った人権学習を実施した報告がございました。また、「人権の花運動」は、小学校を訪問して、花の苗や球根などをプレゼントしている取組も報告がございました。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員。

渡辺委員 3つ教えていただきたいのですけれども、いじめ問題対策連絡協議会委員は11名で構成されているのですけれども、出席者が10名とすると欠席者がいるということでしょうか。次に、25ページの一番下、「主に早期発見に関する取組」として、「教員の廊下への常時配置」とあるのですけれども、これは職務として教員が配置されているのか、教員でなければ、どういう方なのか、ということ、最後に、26ページの下、「A未然防止に関する取組」(4)「いじめ防止啓発シールの配付」で、配付時の注意事項というのは、何なのかということをお聞かせください。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 警察署生活安全課長様が欠席されたので、10名となっております。

2つ目の質問では、いじめやトラブルがあったときに休み時間等に、いじめであれば被害者と加害者があまり接点を持たないように見守るという取組で、先生方が休み時間も職員室等に戻らずに、交代で廊下にいるといったことを実施している学校があるというところでございます。

3つ目の質問でございますが、いじめ防止啓発シールの配付は、シールを教育委員会で作っておりまして、「かけがえのないあなたへ」、「どんな理由があってもいじめは絶対許されません」、「いじめにあったら1人で悩まずに相談しよう」といったものがあります。小さいシールは中学校の生徒手帳に貼れるように、大きいシールは小学校の連絡帳に貼れるようになっております。注意事項等は、相談の電話番号等が書いてあるので、それを説明しながら貼ってもらうということが教師向けとしてございます。

吉田教育長 「教員の廊下への常時配置」というのは、状況に応じてということでしょうか。

指導課長。

千嶋指導課長 廊下においてずっと見守っているわけではなくて、子どもたちとコミュニケーションを取りながらその場にいるということは、小学校は主に担任の先生が全教科教えるような原則がございますので、休み時間も一緒に子どもたちと会話をしながら次の授業を待つということは多いかと思われま。中学校においても、教科担任制でございますけれども、廊下でコミュニケーションを取るといような学校は大分多いと捉えております。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 このいじめ防止シールの貼る際に説明をするという取組はとてもいいと思うのです。

教員の廊下への配置は、教員から休み時間を取りたいというような申出はないでしょうか。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 私が学校現場にいたときも、全員でというわけではなく交代だったり、常時ではなかったり、何かあったときや気になったときにそういう体制を取ることがありました。教育委員会では、そういう申出は今のところ聞いておりません。

吉田教育長 私が学校訪問したときに、1年生の廊下に主任さんが机を持ち出して休み時間にいました。そういうことがありましたのは、その学校全体が少し荒れていました。十二、三年前、今はそういう状況にある学校はほぼないと考えていますけれども、子どもたちの間でトラブルがあったというときには、休み時間に違う学年あるいは違う教室、クラスとの交流もありますので、様子を見ているという状況のこの配置ということでお考えいただくといいかと思えます。ですから、警察官みたいに取締りをやっているという、そういうことではないとお考えいただくといいかと思えます。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 31ページの「B早期発見に関する取組」、①越谷市いきいきアンケート、②越谷市ネットパトロールも分かるのですけれども、③つながりハートポストは、活用状況の結果が示されていなかったもので、どんな感じなのか教えていただきたいです。

④子どもつながりSNS相談@越谷は、期間限定で行われていると思うのですがけれども、こちらに相談をした後はどのようにこの相談がつながっていくのか、疑問を持ちましたので教えてください。

吉田教育長 教育センター所長。

菊池教育センター所長 1点目の「つながりハートポスト」は、市内の児童館コスモス、ヒマワリ、科学技術体験センターにポストを設置して、子どもが例えば放課後、遊びに行ったとき、土、日に遊びに行ったときに、自分の悩みを紙に書いて投函すると、そこで回収していただいた情報は、いち早く教育センターに連絡があり、その対応について学校を含めた関係機関と連携するという、一つの子どもたちの相談するツールでございます。

しかし、この10年ほどの時代の変化により、ハートポストの相談は年々減少しております。これは、子どもたちの相談がなくなったということではなくて、代わりに1人1台端末で24時間何か困ったことやトラブルがあったことが発信できる、あるいは教育センターに来所しての相談や電話、メールでの相談もできるようになったからと考えます。昨年度の実績、活用状況はゼロ件でしたが、このツールは、今後も残しておく必要があると今は考えております。

もう一点、「子どもつながりSNS相談@越谷」、ここでの相談は、子どもたち、小中高生の自殺未遂、自殺企図、自殺念慮というのが、2学期前後に全国的に多いという数値的なデータがあることから、本市では2学期の前後にこのような子どもチャット型式、ライン、チャットで行える相談窓口を設けて、今年度で5年目になります。昨年度の実績は24日間行いまして、84件の相談でございました。相談が業者の対応なのですが、命に関係するような相談だった場合には、すぐに教育センターに連絡があり、キャッチした情報を管理職に連絡してすぐ対応する、この流れについては、フローチャートを校長会で配り、行っているところでございます。幸い昨年度、今年度

におきましても、命が危ぶまれるという相談は発生していない状況でございます。

補足ですが、今年度は新たに2学期前後だけではなくて、冬休みの明けの3学期前後にもこの相談を行うことで、絶対に越谷市内から子どもの命が失われるようなことがないように、未然防止については全てできることは全力で行っていきたいと考えています。

吉田教育長 そもそもいじめというのはなかなか見つけにくい、いじめられていることを、すぐ子どもは「私はいじめられている」と手を上げるかということ、そういうことはありません。所長からは一つの相談ツールという話がありましたけれども、いろいろなチャンネルを用意して、その一つがSNS相談であったり、一つはネットパトロールであったり、一つはハートポストであるということです。いじめがあったら即対応できるようにするという事は、まずは、いじめのサインを見つけないことをやるためのものとお考えいただけるとありがたいところです。今、ゼロ件という話がありましたけれども、ゼロだからなくしてもいいという話ではないだろうということの話だったと思います。よろしいですか。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 越谷市いじめ問題対策連絡協議会の情報提供を見ておりますと、親御さんによる虐待みたいなのも大分話題になっているのだなということを感じました。いじめとは少し違うのかと最初は思ったのですけれども、こういう協議会があることによって、子どもがあざをつくってきたとかということについては、いじめなのか、それとも虐待によるものなのかということで、情報交換ができる場を設定してあるということは、非常に大事なかなと思いました。子どもを守るという観点からは、非常にいいと思いましたので、いろいろ広く情報収集するという意味では、大変意義深い連絡協議会だなと感じました。

吉田教育長 私も参加しているわけですがけれども、子どもがそういう悩み事をいつでも相談できるような体制ということを考えているので、学校で起きていることがいじめであってというような定義に基づいて何かをしているということではありません。したがって、いろいろな機関が参加しているわけですから、各機関との情報提供を通じて一人でも、自殺者、それによる不登校になったりというようなことに陥らないように、手助けができるよう努めているという考えで対応しています。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 他にございませんでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ、今出されたこと等を踏まえて進めていってください。

何か他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になければ、以上とします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時につきましては、10月24日木曜日、午前10時から教育委員会会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出されました議事は全て終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。

(午前11時13分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

渡 辺 律 子

委 員

山 口 文 平

書 記

教育総務課調整幹 鈴木 理香